

学校法人 松浦学園 城北高等学校

# 平成 30 年度 学校評価

## 建学の精神 『人間をつくる』

### 1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

### 2 本年（2018年）度の教育重点目標

- (1) 生活指導を基盤に、真面目が当たり前の校風をつくり、強い心、美しい心をつくる教育を実践する。（心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育の徹底）  
また、すべての教育活動の中で人権感覚を磨く教育を展開し、あらゆる差別を許さない教育を実践する。
- (2) 「わかる授業」の追求と実践を図る。特に今年は、授業の質を向上させるための研修と研究を積み、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ姿勢」「学ぶ習慣」の校風をつくる教育を実践する。（授業研究と公開授業を実施し、教材研究・授業の展開等の工夫と創造、更には教科における協働化・共有化を図る）
- (3) 各学年間においての計画的かつ体系的な進路指導で、生徒の希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育を実践する。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの系統的かつ具体化した指導を実践する。（希望塾の充実強化、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、書く習慣づくり）
- (4) 学校教育活動全般と学校行事の精選と充実及び学校施設設備の更なる充実を図る。生徒が輝く教育活動、行事の具体的精選と内容改善を図り、「より生徒が変わる・伸びる・成長する」教育活動を展開していく。また、老朽化した施設設備（寮、スクールバス等）の改善を計画的に図る。

3 H30年度 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 29	H 28
大項目	小項目						
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	愛と指導力と感性で生徒の可能性を引き出し生徒・保護者・中学校・地域を満足させる教育を実践する	建学の精神に則り、学校教育を展開していく。目の前にいる生徒を満足させる教育活動を実践する。	3	自分の目と手の届く範囲に限られてしまう。学校行事、日々の業務でゆとりが無いように感じられる。実績を含め十分といえない。クラス運営活発に、部活動充実。各中学校への発信できている。生徒理解に努めた。	2.9	3
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学校、学科、コースの特色、生徒一人ひとりの個性を生かした教育活動を展開する	学科・コースの特色の明確化を図る。個々の生徒の可能性を引き出し、学科・コースの実績を高める教育活動を実践していく	3	学科・コース独自の取り組みはできた。理解と協力体制に課題。スポ科の生徒募集、奨学生との兼ね合いに課題が。科の色は出てきているが実績が不十分。スポ科に課題。職員の連携がとれている。	3	3
	開かれた学校づくり	ホームページや学校新聞、広報誌等で情報発信し、説明責任、学校理解を図る	ホームページや学校新聞の更なる充実を図るための工夫を行い、生徒の活動、頑張りを発信する	2.8	自分自身の意識が足りていなかった。多忙な中HP、学校新聞よく更新されている。情報公開に課題。HP更新もされてきた。学級通信をできるだけ出した。	2.8	3
	地域からの信頼を得る学校づくり	地域及び保護者との連携、生徒・職員による地域貢献を図る	地域、PTA間の連携を図り、各種地域活動行事、学校行事、ボランティアへの生徒・職員・保護者の積極的参加と成功を図る	3	ボランティアの参加も増えてきているが参加教員に限られている。校外での生徒活動が減ってきている。TEDをはじめできた。保護者との連携図れた。ボランティアもう少し積極的に。	3	3
	教育環境の整備	施設設備の充実及び、危険箇所等の早期発見、早期対応を図る	教室・体育館等の充実、耐震補強を進める。改善(老朽化設備の点検・修理等)を進める。	2.6	ICTが不十分。職員室のPC増加、教室IT化が必要。少しずつでもIT化を。ハード面がまだ不足。体育館内部。老朽箇所の対応。女子寮きれいに整いよかった。	2.5	2
学力向上	わかる授業の実践	常に学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上を図る	研修、公開授業等で教師間の指導力の向上を図り、振り返りシート等を使い自らの授業を常に研究、改善する	2.7	振り返りシートの活用を。振り返りシート活用の回数が減ってきている。試行錯誤している。進度に影響も。自分自身工夫が必要だ。教材研究の時間確保が課題。	2.6	3
	教育課程と時数の確保	各学科コースの特色を生かした教育課程と3年間を見据えた指導計画の達成	各学科コースの特色を生かしたシラバスの作成と、全ての生徒の学力向上を目指した授業を展開する	2.6	生徒に応じた習熟度も検討課題。特別時間が多くクラスで格差が。自分自身工夫が必要。低学力生徒の対応が課題。	2.6	2
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向け、家庭学習の習慣化を図り、生徒の状況を把握し、適切な学習指導を実施する	生徒の課題学習状況の把握と、授業、課外、マナレ、一步学習の取り組み強化と成果を図る	2.3	クラス内の学力格差への対応に課題があった。希望タイムでの漢検は良かった。家庭学習定着につなげていない。成果が今一つ。各教科で宿題を出す。家庭学習不十分。	2.6	3
生徒指導	自律心と自尊感情の育成	自ら判断し行動する生徒を育成する	生徒が自ら考え行動を促す情操教育の実施と黙想、論語教育等による心の教育を図る	2.8	先回りして手を出しすぎている。日々の論語教育の実践を。校門一礼等徹底を。自ら考え判断し人を傷つけない生徒育成を目指した。HRでの素読がよかった。	2.9	3
	基本的な生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底と生徒自らが取り組む心の掃除の徹底	登校指導、ホームルーム指導、職員間の指導の連携を図り、統一した指導で徹底を図る	2.8	HR指導ができておらず生徒指導部に迷惑をかけている。全体的に課題。心の掃除が課題。挨拶・服装個人差がある。	2.7	3
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す	問題の早期発見と素早い対応を行い、特にいじめ問題についてはアンケート調査等により実態を早期に把握し対応する	2.9	今年は喫煙の問題が課題。全体的な指導が必要。今年度も類似する案件あり。仲間づくりの必要性を感じた。生徒間の相互理解を深める。	2.8	3
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールの遵守を図り、交通事故、違反をなくす	交通安全教育を徹底する(交通講話、実技指導等)自転車、二輪車通学生については特に安全教育を強化する	2.9	守れている。バイクの事故あり。対策が必要。今年度は事故が多発した。	2.8	3
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	進路に関する計画的な指導と支援、充実を図る	学年との連携強化を図り、生徒の意識を高め、学習意欲向上や計画的学習につなげ、進路に関する意識向上を図る	2.8	生徒それぞれの目標は達成できた。公務員現役合格が後輩の励みにもなり良かった。生徒の日頃からの努力が結果として表れているのがうれしい。生徒の意識向上を図るためには。	2.7	3
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.7	生徒の意識が今一つ。小論文指導を行った。いかに生徒の意欲を向上させるかが課題。教師のスキルアップが必要。	2.7	3
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び職業適性結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.8	生徒の意識が今一つ。事前指導が必要。ガイダンスの内容がよくなってきた。実績が出てきている。	2.7	3
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	職員研修の充実と各種研修会への参加	校内研修会の計画的な実施及び外部研修会等への積極的参加	3	職員の人権意識は高くなってきていると思う。自分自身研修が必要。積極性が必要。レポート研修はよかったが、外部への参加が少ない。	2.9	3
	生徒の人権意識の高揚	豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る	教育内容と指導の工夫・改善を検討し、学校全体、学年、クラスにおいて計画的に人権教育を実施する	2.9	生徒の意識は以前より高まっている。仲間外しがある実態。	3	3

特別活動	適切な学校行事の実施と充実	意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る	計画的かつ効果的な学校行事運営・内容を検討、確立し、更に充実させる	2.9	LHRの充実や学校行事の精選は課題。生徒が主体的に参加している。もう少し簡略化を。	2.8	3
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動の確立	生徒会・委員会の運営、役割を整理し、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織を充実させる	3	活発だが活動の仕方の見直し、生徒会に任せすぎ。学業と生徒会のバランス。顧問先生に感謝。全員でサポートすべき。	2.8	3
	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の更なる活性化と向上を図る、	全国レベルへ向けて、人間形成の基盤となりうる部活動へ向けて、更なる活性化を図る	2.6	顧問としての関わりに課題があった。スポ科の生徒の指導に課題が。部活動顧問が実態をしっかり指導すべき。部活動生の指導必要。挨拶マナーの低下。強化部以外が課題。	2.6	3

その他全体的に成果と課題	地域の信頼、評判がとてよくなってきている。生徒や保護者の笑顔が多く見られる。視聴覚機材の不足。生徒や保護者の対応に教員間で差がある。生徒が授業で真の学力が身につくように日々の授業の充実。希望タイムの充実。各学科の取り組みや強みの共有。旧体育館、寮の耐震化ができた。PTA活動を全教員の取り組みへ。						
--------------	--	--	--	--	--	--	--

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 29	H 28
大項目	小項目						

総務部	本校教育活動を中心に情報の発信を行い、生徒募集へと繋げる	オープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる	3.5	生徒の負担増。こまめに情報発信できている。オープンキャンパスはよいが、中学校訪問のやり方の見直し。	3.3	4	
		学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に発信する	3.3	学校新聞の内容を充実させたいが、製作に追われている。どのように受け入れられているか不透明。HP充実している。	3.2	3	
	適切な入学試験の実施	願書配布、入学試験、合格発表までの流れを的確に行う	3.2	よくできている。遠方にも訪問できており良いと思う。	3.2	3	
		入学試験全般における課題の改善を図る	3.2	検討会の時間確保で改善して頂いているが更に改善を。	3	3	
	PTA活動の活性化	PTA活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2.8	急なPTA担当の変更にもよく対応よくできていた。PTA活動も活発だった。PTA担当の先生がよく動いている。一部の先生の対応になっている。	2.7	3	
	同窓会活動の活性化	同窓会活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2.4	同窓会の活動が見えない。	2.6	2	
	効果的な環境美化の実施	具体的な環境美化計画、心の掃除、大掃除を実施し、より効果的かつ情操教育へと繋げる	2.8	意識が低い生徒がいる。取り組み方。心の掃除に課題。美しい学校になっている。生徒の意識強化。	2.9	3	
	総務部活動全体について成果と課題		PTA・同窓会活動に教員の偏りが。全体的に熱心な取り組みにより成果を感じている。様々な行事・活動があったが、努力を怠ることなく取り組めた。HP更新等遅れることがあった。スタッフ不足で大変なスタートとなったがお互いにフォローしあい活動できた。行事時の掃除対応。OC2回は負担大。近隣地域の生徒募集の組織を作り効果を上げては。少子化の中、生徒数が増えているのは評価すべき。作業の効率化、多忙な業務を改善する方策づくり。OC入試説明会等参加された方が感動される内容であった。				

各部及び専攻科	効果的な学校行事の実施と授業時数の確保を図る	学力保障のための授業時数の確保、自習時間の減少を図る	2.9	特別時間割で対応できている。以前と比べると改善されている。時数確保依然課題。特別時間割減少。	2.7	3
		目的を明確化し、より効果的かつ充実した学校行事の実施	2.8	行事に追われている傾向が。内容までは口が出せない。フィードバック必要。行事は精選されてきた。	2.8	3
		効果的かつ適切な時間割の実施	2.8	特別時間割で一部教科に偏りが。特別時間割が多すぎる。	2.9	3
	わかる授業の実施、基礎学力定着への取り組み強化	よりわかる授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業の実施	2.7	教材研究の時間的余裕がない。教材の選定の再検討。	2.8	3
		研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る	2.4	教育実習以外研究授業の意識がない。他の先生の授業見学をしたい。自分自身で工夫できた。定例化を検討。	2.7	3
		教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図る教科会等の実施	2.5	教科としては時間を設けて話している。教科会は不足している。	2.4	2
		振り返りシートの効果的活用	2.5	活用が少なかった。活用ができていない。もっと活用する意識を高める。今年度利用できていない。	2.4	2
	職員の指導力向上、意識の向上を図り、ベクトルを揃える職員研修の充実	校外における効果的かつ計画的な職員研修会の実施	2.7	充実してきている。時間の確保が難しい。なかなかできていない。	2.5	3

	多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施	生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用を行う	2.9	本校奨学生制度の見直しが必要。各制度の通達はできた。奨学金制度を理解できていない職員がいる。	3	3
	教務部活動全体について成果と課題	役割分担も大切にしながら協力し合うところも必要だと思った。定期考査等において、教務の先生方の対応や確認が充実してきてミスが減ったように思う。授業を大切に。学力保障・行事の精選など課題は多い。全体的に教師の意識の高まりを感じる。漢字検定の取り組みは生徒の意識向上につながった。授業時数の確保。学力アップの取り組みを。教職員間の協力体制、意識疎通の広がり。				
生徒指導部	基本的な生活習慣の確立	挨拶(立ち止まる、体を向けて、校門一礼等)、指導、服装指導の徹底	3.1	自ら行えるよう指導していきたい。挨拶が全生徒ができるような指導。服装違反者の指導全職員でやるべき。	3	3
		心の掃除の徹底	2.8	できていない。無言掃除の徹底。生徒と共に取り組んだ。クラス間格差がある。	2.4	3
		欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導	3.1	よくできている。こまめにできた。保護者との連携強化。副担任のサポートの差がある。	2.7	3
	問題行動をなくし、特別指導において自主性と規範意識の構築を図る	校則や社会的マナー、ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施	3.1	生徒指導は任せたり無関心ではいけない。服装検査の再検査はもとの形に戻した方がよい。職員の意識の低下へつながっている。	3	3
		規範意識と自主性・意識向上のための特別指導の実施	3	よく指導できている。生徒指導部と担任の連携を密に。	3	3
	いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る	城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる	2.9	思いやりの指導徹底。理解できていない生徒も多い。お互いを認め合う心ができてきている。	2.9	3
	生徒指導部活動全体について成果と課題	クラスや担任へ生徒指導部からしっかりとフォローして頂いた。登校指導が今一つ。心優しい素直な生徒が育っていると思う。指導の判断基準がそろっていない。先生方の意識を揃えることの難しさを感じる。部長を中心によくやっている。ことばのつかい方、敬語の指導をした方がよい。担任の指導力、声掛け、接し方でせいのせいちようにおおきないきようがある。声掛けや接し方、愛情の注ぎ方を一人ひとりが考え実行しないといけない。全体的に向上しているが、挨拶については薄れている。本校の生徒指導の成果は大きい。課題生徒への対応、情報共有の手立て、解決への道筋づくり。				
評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	
大項目	小項目					
人権教育部	豊かな人権感覚を身につけた生徒を育成する	学校全体、学年、クラスにおいて計画的かつ効果的な人権教育の実施	3.1	毎月の人権だよりを読みクラスの啓発を行っている。松村先生頼りになっている。	2.9	3
	職員の人権意識の高揚を図る	校内外研修会の計画的な実施と参加	3.1	職員全員が意識をあげなければならぬ。研鑽の機会をもつことの大切さを感じる。	3.2	3
	人権教育部活動全体について成果と課題	校外研修会への更なる参加があると良い。世代によって人権意識の違いを感じる。しっかりとした基盤の上で取り組む必要がある。人権だより、校内外研修と学びの場を多く頂いた。更に生徒一人ひとりへの人権意識の向上を図るために。				
特別支援部	個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援	特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	3.2	特別支援生徒への理解が進んだ。	2.8	3
	生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり	教職員への研修、情報の共有等におけるのバックアップ体制と組織の確立	3	教科担当への情報提供に課題。	2.8	3
	特別支援部活動全体について成果と課題	部長に頼りすぎ。バックアップ体制が必要。教師の気づき力UP。計画的な支援よりも飛び込んで入ってくる教育相談が多かったが迅速に対応することができた。フェイスシート等担任の意識の差がある。一人ひとりに丁寧に対応されている。生徒の情報提供等分かりやすく対応できている。スクールカウンセリングについて効果的な利用がされているが、日数の増加も考えたい。				
保健体育部	体育的活動の充実	体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図る	3.1	なぜするのかを明確に。よくできている。	3	3
	保健衛生面の充実	生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図る	2.9	一人ひとりの生徒に対する対応が課題。	3	3
	保健体育部活動全体について成果と課題	ミーティングルームの管理徹底。(放課後含む)ダンスの取り入れ等よくやっている。スポーツ科学コース生徒への指導再構築する必要がある。				

各部 及び 専攻科	生徒会	生徒会活動の充実	生徒会の役割、運営等を把握整理し、生徒会活動がより主体的かつ効果的になるよう充実を図る	3.1	生徒会は懸命に動いているが効果的になるよう心がけが必要。部長の負担が大きい作業を振るべき。生徒はよくやっている。効率化。	3	3
		生徒会組織の充実と委員会活動の活性化	生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体の活性化を図る	3	委員会活動をもっと充実させたい。自主的に。生徒会顧問と生徒の繋がりを。	2.9	3
		生徒会活動全体について成果と課題	生徒の主体性が磨かれていると感じる。活動のスリム化、合理化も検討を。生徒からの主体性を否定しすぎず、学校行事の企画・運営への意欲・遣り甲斐を全体で共有できるようにしたい。生徒会担当の先生の負担が重いように思う。生徒会だから〇〇できないなどの考えの生徒がいるのは課題。学園祭をはじめ様々な行事に生徒会の生徒に自主性を自覚させ運営の力をつける指導がされた。				
看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼ね備えた看護師を育成する	実習や各授業において学生が意識を高め、達成感や課題解決学習に取り組む態度を育てる教育活動の充実を図る	3	授業研究する時間が確保できずもっと充実した内容を展開したいと反省。個別学習や保護者とも連携し強化した。計画通りに効果的に取り組めた。学びの基礎に考える力をつける講義を組み立てた。	3.3	3	
		国家試験全員合格へ向け、計画的、合理的学習の充実を確立する	3.3	振り返りや定着する取り組みが必要。計画的にすすめている。	3.4	3	
	看護専攻科全体について成果と課題	教員間の連携不足により実習指導に困難を生じることもあったが、その都度対応し、解決に努めた。負担が大きいため役割分担を再考する必要がある。学生支援が課題。国試に向け、学生の人間性の構築に努力されている。					
事務部	経理・庶務・会計の充実	各項目における経理・会計の正確かつ明確化を図る	3.1	明確でない部分がある。管理を効率的に行いたい。正確さ、完璧な仕事を。する。	3.1	3	
	安心安全な食堂運営	安心安全かつバランスのとれた食事の提供を図る	2.9	生徒の体づくりに工夫必要。食券がよく売れている。検討の必要も。	3	3	
	安心安全なスクールバス運営	計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図る	2.9	費用の問題から課題がある。しっかりできてきた。点検についての課題。	2.9	3	
		的確かつ合理的なスクールバスの運行を行う	2.8	検討が必要。土曜便の生徒・職員の間隔期日厳守徹底を。	3	3	
	安心安全な寮運営	寮生の実態把握を的確に行い、点呼体制、寮生活における規律体制の確立と、より豊かな生活が営めるよう充実を図る	2.7	寮生の生活についてもっと知るべきだった。男子寮の整備を。報・連・相を徹底する必要がある。寮防犯対応。	2.9	3	
	事務部全体について成果と課題	ジョブローテーションでわからなかった分野が把握できた。適切な人員配置と協力にまだ課題が。施設の老朽化への対応を。寮生の管理体制。生徒状況確認、通院等引率問題、女子寮など生徒の生活環境が整備された。学校の顔である玄関での対応等誠意の伝わる雰囲気がつくられてきた。連絡事項の共有を積極的に。城北高校の窓口として良い対応をしていきたい。老朽化しているバス、建物等の点検修繕等。校納金、寮費等未納家庭への対応。担当外の業務の把握、組織としてのあり方を共有する。					
評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題		
大項目	小項目						
各部 及び 専攻科	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立	生徒の進路希望や学力等の的確な把握と指導を行い、計画的、体系的な指導を行う	2.8	進路指導部の先生の丁寧な対応に担任として感謝している。	2.7	3
		計画的かつ充実した進学指導の実施	計画的、より効果的に生徒の学習意欲と学力の向上を図る授業、課外、希望塾の実施	2.8	1年次での意識づけ。進路指導部が中心となつてのLHRなど企画し、進路に対する知識量を増やす。	2.5	3
		計画的かつ充実した就職指導の実施	計画的、より効果的に生徒の就職活動ができる環境を整え、学力の向上とキャリアプランニング活動の充実を図る	2.8		2.5	3
		効果的な面接・小論文対策指導、公務員対策指導の確立	個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な指導を徹底する	2.7	公務員対策指導の成果が出た。	2.3	3

		進路指導部全体について成果と課題	来年度に積み残した課題が多くある。今年は大学、公務員合格といい結果が出ている。生徒が進路へ向けての調べや活動がしやすいように整理整頓と改善をするべき。国公立大学進学への取り組み。難関大合格、公務員等まだまだである。進路指導室活用の効率化やシステム化を確立すべき。基本的学力をつけるための取り組みに難しさを感じる。体系的に指導する方法を再考する必要がある。全体的に面接・小論文指導等不十分なところがある。
--	--	------------------	---

	学校行事	評価	成果と反省と課題
学校行事等について	体育大会 5月12日(土)	3.5	指導・教育する観点を明確にし、生徒の姿勢をつくりたい。年度初めの行事として教育効果の高いものにした。生徒がよく頑張った。体育科、生徒会にしっかりと引っ張ってもらった。体育大会後、他の授業の確保の時間割作成をしては。生徒達は意欲的に集中して取り組んでいる。事前指導、振り返りが必要。暑い中の取り組み姿に感動。いつも感動している。女子ダンスが1曲で少しもの足りなかった。1年生が城北高校生になっていく過程がすばらしい。テーマの決定から種目内容の説明等計画で後手後手になった。練習の内容、方法再考を。ある程度の練習は授業で。
	1学年宿泊研修 9月12日(水)～14日(金)	3.4	入学前に実施し、入学前後の指導に活用しては。水基巡りは初めての活動だったがルールを決めて取り組むことで、有意義だったと思う。学年間の連携がとれていた。もっつけじめのある行動を。目標を理解し主体的な生徒の活動が見られた。1泊2日への変更検討。もう少し早い時期にできないか。次期の問題、指導面での課題を再考すべき。2学期に入ってからの実施は教育効果が小さい。
	学園祭 11月2日(金)～3日(土)	3	活発に皆で協力し合い取り組んでいた。新しい取り組み(各クラス展示見学など)があった。学科毎の特色を出すところも良かった。1日目のタイムスケジュールに課題があった。いろいろと変えたことはよかったが、不都合もあった。展示場所等大きく変更があったり、工事での制約があったり顧問を中心に頑張った。実施要項が何度も出てきたのは課題。生徒会以外の生徒の積極性に課題あり。クラスにおける協力が見られた。忙しい中成功してよかった。内容は精査してもよいのでは。ビブリオバトルは工夫されておりよかった。生徒会の仕事量、仕事の仕方など見直しを。生徒と一部の職員の負担が大きすぎる。それぞれの担当の連携不足があった。総括が全体を見通した指示が出せるようなサポートができなかった。生徒会もよく頑張った。複数回の資料の出し直しは共通理解がしにくい。生徒会の生徒の動きと教師のサポート体制。3年生はやらせるべきではない。生徒会の頑張りはすばらしいが、ルールが増えすぎて以前以上に大変になってきたように感じる。
	城北プレゼンフェスタbyTEDスタイル 11月22日(木)	3.3	発表した生徒の成長は目を見張るものがあった。他の生徒の考え討論する姿勢、態度を育てたい。発表者はとてもがんばってくれました。自分自身の意識も高めて取り組みたい。これからの時代に必要な力で有意義な時間となった。自分自身もしっかりと学び理解しなければならなかった。いい企画。生徒によってはついていけないので今後どう見守っていくかが課題。プレゼンをした生徒達は大きく成長した。クラス・全体のディスカッションには課題が。2年目の飛躍が必要。発表された方がすばらしく聞き入ってしまった。感心した。斬新でよかった。スピーカーも他の生徒も心の成長につながった。生徒に目的を理解させるのが困難だった。来年はディスカッションに更に力を入れたい。すばらしい試みだった。数回行われるディスカッションでは担任・副担任の指導や言葉かけが不可欠。それが学校全生徒の取り組みとして生きてくる。スピーカーの発表に感動。1年目の取り組みをどう次年度につなげていくか、全校生徒、全職員の意識を高めていくこと。3年生はやらせるべきでない。学校の魅力をつくれた。自らの思いを伝えるための取り組みは今後も続けていくべき。
	修学旅行 12月8日(木)～12日(水)	3	暖冬であったため、スキーができるか心配であった。日程とスキー以外も検討しては。事前準備など入念になされていた。学年で担任の負担が大きかったので副担へも分散するなどの工夫があればと思う。前日は午前中日程にしては。就学力後のとりまとめや反省、そして引き継ぎが必要。職員の協力体制に課題があった。
その他学校行事について	学校行事が多すぎて生徒教師も追われている感がある。行事の精選を更に考えていくべき。夏のOCから学園祭まで気の抜けない数ヶ月です。OCなどとても良かった。しかし、職員の温度差も感じる。全てにおいて温度差(ベクトル)をどうなくす(少なくする)かが課題。生徒のいきいきとした姿を支援していく生徒会担当職員の負担が大きい、改善策が必要。PTAとの関わりと充実を。各科行事で活性化、特徴づくりはできているが、追われている印象がある。		

4 生徒による評価総括表 H30年度(2019)		当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1	学校の教育方針や教育に関する取り組みなどの情報は十分に伝えられている。	25%	55%	17%	2%
2	学校から配布される文書はわかりやすく丁寧なものになっている。	41%	51%	7%	1%
3	学校からの連絡は適切な時期・時点に行われている。	29%	44%	23%	3%
4	先生方は家庭への連絡をきめ細かく取ってくれる。	30%	47%	20%	3%
5	先生方の対応は親切で誠意があると感じる。	33%	46%	16%	4%
6	先生方は生徒の悩み事に対して親身になって相談にのってくれる。	36%	44%	16%	4%
7	城北高校は学校行事が充実している。	26%	43%	21%	9%
8	城北高校では基本的な生活習慣や規範意識を身につける指導が適切に行われている。	37%	49%	11%	3%
9	城北高校では命や人権を尊重する指導・学習が適切に行われている。	46%	44%	9%	1%
10	城北高校では安心して学校生活を送ることができる。	39%	47%	11%	3%
11	城北高校ではいじめのない学級、学校づくりがなされている。	35%	47%	13%	5%
12	城北高校では健康と安全について適切な指導が行われている。	47%	44%	7%	1%
13	城北高校では進路について情報提供が適切になされている。	45%	42%	11%	1%
14	城北高校は教育に必要な施設や設備が整っている。	30%	47%	17%	5%
15	城北高校は他の学校にはない特色がある。	46%	34%	15%	5%
16	城北高校での生活や学習は自分の成長に役立っている。	33%	54%	11%	3%
17	就寝、起床、食事など規則正しい生活をしている。	40%	39%	17%	4%
18	学校を欠席、遅刻しないように日頃から心がけている。	66%	28%	4%	2%
19	先生や友人に毎日あいさつをしている。	64%	31%	5%	1%
20	希望手帳を有効に活用している。	21%	33%	31%	15%
21	心の掃除に意欲的に取り組んでいる。	33%	50%	14%	2%
22	家庭学習(予習・復習・自学)の時間を十分確保し取り組んでいる。	15%	36%	34%	15%
23	学校の授業内容を理解している。	14%	51%	28%	6%
24	特別活動(学校行事・生徒会活動・部活動など)に積極的に参加している。	42%	37%	15%	6%
25	学校の施設、公共物を大切にしている。	70%	28%	2%	1%
26	自分の将来に夢や希望を持っている。	49%	34%	12%	4%
27	明るく生き生きと学校生活を送ることができる。	43%	41%	11%	4%
28	城北高校に入学して良かったと思っている。	33%	40%	16%	11%

\* 昨年までの生徒による評価総括表(○はい、●いいえ)

	H29年度(2018)		H28年度(2017)		
1	城北高校での学校生活は楽しいですか。	○ 88%	● 12%	○ 84%	● 16%
2	城北高校に入学して良かったですか。	○ 84%	● 16%	○ 79%	● 21%
3	先生達は生徒のために頑張っていますか。	○ 84%	● 16%	○ 81%	● 19%
4	高校で何か頑張っていることはありますか。	○ 87%	● 13%	○ 82%	● 18%
5	今高校生活での目標を持っていますか。	○ 86%	● 14%	○ 78%	● 22%
6	将来の目標を持っていますか。	○ 83%	● 17%	○ 82%	● 18%
7	あなたは「心の掃除」にきちんと取り組んでいますか。	○ 82%	● 18%	○ 81%	● 19%
8	あなたは授業の「予習・復習」をやっていますか。	○ 31%	● 69%	○ 23%	● 77%

## 5 保護者による評価総括表

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

	項目	H30年度 評価 ( % )	H29年度 評価 ( % )
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4 ( 24.3 ) 3 ( 67.8 ) 2 ( 7.4 ) 1 ( 0.4 )	4 ( 31.1 ) 3 ( 62.7 ) 2 ( 6.2 ) 1 ( 0.0 )
2	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4 ( 35.3 ) 3 ( 55.3 ) 2 ( 8.8 ) 1 ( 0.6 )	4 ( 44.5 ) 3 ( 49.7 ) 2 ( 5.0 ) 1 ( 0.8 )
3	城北高校の授業は、生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している。	4 ( 24.9 ) 3 ( 61.4 ) 2 ( 12.7 ) 1 ( 1.0 )	4 ( 29.9 ) 3 ( 60.4 ) 2 ( 9.1 ) 1 ( 0.6 )
4	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4 ( 38.6 ) 3 ( 52.3 ) 2 ( 7.9 ) 1 ( 1.2 )	4 ( 40.9 ) 3 ( 51.9 ) 2 ( 6.6 ) 1 ( 0.6 )
5	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4 ( 42.5 ) 3 ( 50. ) 2 ( 6.3 ) 1 ( 1.0 )	4 ( 48.7 ) 3 ( 45.0 ) 2 ( 5.5 ) 1 ( 0.8 )
6	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4 ( 35.0 ) 3 ( 52.0 ) 2 ( 10.7 ) 1 ( 2.2 )	4 ( 43.8 ) 3 ( 46.4 ) 2 ( 8.7 ) 1 ( 1.0 )
7	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4 ( 53.6 ) 3 ( 43.0 ) 2 ( 2.6 ) 1 ( 0.8 )	4 ( 60.2 ) 3 ( 36.8 ) 2 ( 3.0 ) 1 ( 0.0 )
8	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4 ( 46.2 ) 3 ( 47.3 ) 2 ( 5.7 ) 1 ( 0.8 )	4 ( 53.6 ) 3 ( 41.3 ) 2 ( 5.0 ) 1 ( 0.2 )
9	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4 ( 31.8 ) 3 ( 61.9 ) 2 ( 5.7 ) 1 ( 0.6 )	4 ( 38.4 ) 3 ( 56.5 ) 2 ( 5.0 ) 1 ( 0.2 )
10	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4 ( 33.2 ) 3 ( 57.9 ) 2 ( 8.1 ) 1 ( 0.8 )	4 ( 37.3 ) 3 ( 54.6 ) 2 ( 7.7 ) 1 ( 0.4 )
11	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4 ( 48.1 ) 3 ( 48.7 ) 2 ( 2.8 ) 1 ( 0.4 )	4 ( 53.8 ) 3 ( 41.0 ) 2 ( 4.9 ) 1 ( 0.2 )
12	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4 ( 37.4 ) 3 ( 54.1 ) 2 ( 7.9 ) 1 ( 0.6 )	4 ( 45.3 ) 3 ( 45.9 ) 2 ( 8.6 ) 1 ( 0.2 )
13	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かに行っている。	4 ( 34.6 ) 3 ( 52.7 ) 2 ( 11.1 ) 1 ( 1.6 )	4 ( 41.1 ) 3 ( 46.6 ) 2 ( 11.1 ) 1 ( 1.2 )
14	城北高校は、保護者および地域社会に信頼されている。	4 ( 37.6 ) 3 ( 54.3 ) 2 ( 6.4 ) 1 ( 1.6 )	4 ( 42.8 ) 3 ( 52.0 ) 2 ( 4.2 ) 1 ( 1.0 )
15	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4 ( 56.8 ) 3 ( 36.0 ) 2 ( 5.9 ) 1 ( 1.4 )	4 ( 60.4 ) 3 ( 33.3 ) 2 ( 5.0 ) 1 ( 1.4 )

## 6 学校関係者評価

本校評議員、PTA役員による学校関係者評価

4: そう思う 3: まあまあそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

1 学校経営全般について	
項 目	評 価 (人)
(1) 学校の経営方針や本年度の努力目標は、生徒の実態や保護者、及び地域住民の要望等を踏まえた適切な設定になっている。	4 (75%) 3 (25%) 2 (0%) 1 (0%)
(2) 学校の教育活動について保護者や地域、中学校に、わかりやすく伝えている。	4 (42%) 3 (58%) 2 (0%) 1 (0%)
(3) 学校は、教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている。	4 (33%) 3 (42%) 2 (25%) 1 (0%)
(4) 学校は、各学科コースの特色を生かした教育課程と、その教育指導実践を行なっている。	4 (64%) 3 (36%) 2 (0%) 1 (0%)
2 自己評価について	
(1) アンケートの項目や調査内容及び方法は、学校経営の改善へ向け、適切である。	4 (67%) 3 (33%) 2 (0%) 1 (0%)
(2) アンケート等の分析をもとにして、学校経営の成果や課題が明らかになっている。	4 (58%) 3 (42%) 2 (0%) 1 (0%)
(3) 学校経営の今後の課題に対し、対策が具体的・計画的に示されている。	4 (25%) 3 (67%) 2 (8%) 1 (0%)
(4) 評価項目の大項目について	
①『学校経営』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (58%) 3 (42%) 2 (0%) 1 (0%)
②『学力向上』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (25%) 3 (75%) 2 (0%) 1 (0%)
③『生徒指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (50%) 3 (42%) 2 (8%) 1 (0%)
④『進路指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (42%) 3 (58%) 2 (0%) 1 (0%)
⑤『人権教育の推進』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (33%) 3 (50%) 2 (17%) 1 (0%)
⑥『特別活動』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (50%) 3 (42%) 2 (8%) 1 (0%)

①～⑥における御意見 ○生徒一人ひとりに目標を設定され、その課題をクリアされることで益々生徒に向上心が湧いていると思われる。○この少子化の中で学校を経営するのは大変だと思いますが城北高校の特色をPRされているので生徒も集まってくるのだと思う。○「学習習慣と基礎学力の定着」が0, 3下がっているのが気になります。○明るく楽しい学校づくりでいじめ問題などの早期に把握し対応するのはいいと思います。ですが同級生同士のいざこざや先輩後輩などの注意の仕方などで保護者が過剰反応してくるケースもあるので適切な判断をお願いします。○ほぼ客観的に評価と課題の抽出がなされている気がする。回答の内訳はわからないが平均点から見ると設問によっては不十分と回答された方が一定数いるはずでありそういった部分では個人の中でジレンマのようなものも発生していると思われるため、少し長期になるにしても改善計画などを立ててすすめてほしい。特に危険箇所や老朽箇所等のハード面の整備は早めの対応が必要である。毎日忙しい中で時間がとれないのがよく分かりますが少しでも生徒とコミュニケーションがとれるようにまた、理解できるように努めてもらいたいと思います。

⑦大項目『各部及び専攻科』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。

4 (58%) 3 (42%) 2 (0%) 1 (0%)

⑦における御意見 ○仕事上で職場の同僚が高校を訪れたときに「挨拶がいいですね」と言われました。人間としての土台を高校生時代に高校生時代に作れることで社会人になっても上司や先輩にかわいがってもらえると思う。また、進路においても大学入試、就職、国家試験と学校が一人ひとりに対応されていることで大きな成果が現れていると思う。○全体的に見て評価が前年度より上昇してきており、先生方の努力だと思う。特に看護専攻科、事務部の先生方のご苦労は大変だろうと思う。できれば、「具体的目標(評価の観点)」の欄に総務部に「式典や行事の運営・役割・分担」の項目を、生徒指導部に「交通安全に関する意識の高揚」の項目を追記してはどうか。【⇒】「研究授業の実践・・・」が0, 3下がっているのが気になります。進路指導部の評価が0, 1～0, 4と全ての項目で上がっているのが大変うれしいです。○課題の抽出はよくできていると思う。総務部においては評価の低いPTAや同窓会活動が課題と考える。全体的な評価では若干低めに見える教務部についてはいろいろな取り組みは有意義であり充実させたいと思う反面、いろいろなことで時間が足りないといった実情も見取れ先生方の努力も窺える。○よく努力しているように思えます。社会人になって人のため世の中の全てに対して活躍できる素晴らしい人間に少しでもなってほしいと思います。

⑧『学校行事等』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。

4 (67%) 3 (33%) 2 (0%) 1 (0%)

⑧における御意見 ○生徒自らが主体となり計画運営と実施することで生徒自身も向上している。その活動に格差がないように教職員は指導して頂きたいと思う。○いづれも大変な行事でご苦労の連続だったろうと思います。素晴らしい見事なできであったろうと想像しますが、この5つの行事に「入学式・卒業式・戴帽式等の式典」に関する項目を追記してはどうか。【⇒】○体育祭や学園祭など生徒達が一生懸命に頑張っている姿は素晴らしいと思います。○学校行事の充実が好ましいことであるがそれらの準備などで学業が疎かになるのは本末転倒である。しかし、本校は学業だけを教育するのではなく人づくりを目標としているため人間関係構築や社会人となっても必要なことを学ぶなど授業だけでは養うことが難しいものを各行事を通して得ることができることは大変好ましいと思う。ただし、学業に集中したいという生徒も一定数いるはずなので、その点は最大限考慮して頂きたい。

### 3 生徒による評価について

『生徒による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。

4 (58%) 3 (42%) 2 (0%) 1 (0%)

『生徒による評価』における御意見 ○学校生活において自分の居場所を見つけ夢や希望が叶えられるよう導いて頂ければと思う。○生徒達は正直に各項目を自己評価していると思う。そしてその評価は先生方へ更なる強力な指導や教示をお願いし、期待しているように思われる。特に、家庭学習時間の確保と取り組みわかる授業の実施取り組み、希望手帳の有効な活用法については今後全教職員で真剣に取り組まなければならぬ喫緊な課題であることがよく分かる。○家庭学習の取り組みについて寮生の子どもの学習時間の確保が中々難しいのではないかと思います。○具体的な評価項目になったのは良かった。学業に関する22と23が少し低いのは気になる。入学した時点の気持ちに大きく左右されるであろう28であるが、それに関連するであろう26や27が若干良い評価になっていることは大きく評価できると思う。○全体的に数値が下がっているのが気になるが、それでも80%以上というのは素晴らしいと思う。人気があるのはそこにあるのではないかと。

### 3 保護者における評価について

『保護者による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。

4 (36%) 3 (64%) 2 (0%) 1 (0%)

『保護者による評価』における御意見  
○先生が研修等に行かれ授業や生徒指導に活かされていることを保護者に明確に説明することで今後、保護者の理解度も向上すると思います。  
○保護者の評価も大変良好で本校に対し大きな信頼と期待を寄せているのが伺える。それ故更に保護者と緊密な連携を保ちながら職員が生徒一人ひとりを大事にして本務である授業の充実、学力の向上に努め、更には進路保障に最大の努力を払うことが大切である。そのことは生徒募集にも大きく影響すると思う。  
○少数意見にも目が向いていて更に向上すると思います。  
○保護者の中には厳しい意見の人も多いのでその意見が少しでもいい言葉になるように保護者と学校の理解連携が必要だと思います。  
○全体的には高評価と受け止めてよい。ただし、保護者がどれほど校内の雰囲気などを理解しているかは疑問であり、評価の低い項目も自分の子どもに関する情報に大きく頼っていると思われるため、全体的な実態とは違う可能性もある。  
○H29年度に比べてH30年度は評価数が全体的に下がっているのには何か原因があるのでは。親は学校に対し期待度が高い。

### 4 その他御意見

○毎年学校評価をし、課題を出し次年度につなげておられる先生方、本当に素晴らしいと思います。保護者における評価の回答率はどれくらいですか。保護者の学校への協力もすごいと思います。保護者も学校に興味を持つことがPTA活動の活性化にもつながると思います。  
○大項目の「学力向上」を「学力向上の指導」、小規模の並べ方や表現を「家庭学習習慣と基礎学力の定着」次に「わかる授業から深く授業への実践」最後に「教育課程と時数確保の推進」と変更した方が鮮明で職員意識の向上につながるのではと思う。家庭学習の件では①学ぶこと、習うこと、知ることの喜びや楽しさ、また、家庭学習や自学自習の目的や大切さ必要性を年間通して随時今以上に語りかけたり体験させたりする。②家庭学習のできない理由や原因を調査してその解決策を共に考えたり、指導したりする。実態調査や改善策に関しての内容記述。  
○日頃から先生方にはお世話になっております。これからも子どもたちのためによりしく願います。  
○評価と課題の抽出は良くなされている。学校をもっと良くするためには評価の低かった内容から中心に改善していけば良いだけなのだが、複合的な問題もありそうで簡単にはいかないだろう。課外や各種行事等先生方も全体的に努力しておられると感じているが、評価の中でも時々出てくる「先生間の温度差の違い」や「ベクトルをそろえる」といったことを改善や推進していき、同じ職場内での不公平感が発生しないように注意してもらいたい。  
○今と昔では教育のあり方も環境もかなり変わった。一人でも多く良き人間を育ててほしいと願っています。  
○しっかり分析や課題がまとめられています。他の高校よりも保護者との近い関係性が保たれていると思いますので引き続きPTAとの連携強化に努めていきたいと思っています。

## 平成30年度 学校関係者評価委員会（H30 5月、H31 3月実施）

### 【1】第1回学校関係者評価委員会

日 時 平成30年 5月25日（金）13:30～14:50

場 所 役員室

出席者 本校評議員(15名)

#### 議 事

- ①学校の現況について
- ②昨年度（平成29年度）の学校評価の総括について
- ③今年度（平成30年度）の教育重点目標について
- ④意見交換

平成29年度は本校創立50周年を迎えた。創立50周年記念事業も多く開催され、次なる100年へ向けて更なる発展を目指し、一步を踏み出すことができた。今年度の事業や教育活動においての自己評価、生徒評価、保護者評価、学校関係者評価をもとに、平成29年度を総括し、今後へ向けた教育活動の更なる充実と生徒育成のための教育目標、今年度の教育重点目標を示し、それぞれの教育活動の具体的な取り組みや計画を説明、報告した。学校関係者評価委員から出た意見は次のとおりである。

（1）学校の情報を積極的に公開され、保護者も学校も関わろうとしており、今後も地域に密着した学校づくりを目指して頂きたい。

（2）課題を把握され、良くしていこうという高い意識も持つておられると思いますが、全てを同時に行うのは理想的であるが困難であるため、中長期的な計画を立てて、その中で重点的に行うものを単年度計画を具体的に示すなどして取り組んでいただきたい。

（3）宅習の習慣化のために、①基礎的・基本的な内容の課題を計画的、継続的に与えたり、②各学科の特色、特性を考えて生徒の興味関心を高めるような課題を与えたり、③学力差があれば、個に応じた補足的または発展的な課題を与える等、各学科、各学年、各教科でさらに検討してみてもどうかと思います。

（4）論語教育などで心をつくる教育に励んでおられるのは本当に素晴らしい。

（5）調理科の調理器具などもう少し充実を。

### 【2】第2回学校関係者評価委員会

日 時 平成31年度 3月27日（水）13:30～14:40

場 所 役員室

出席者 本校評議員(15名)

#### 議 事

- ①学校の現況について
- ②今年度（平成30年度）の学校評価について  
自己評価・生徒評価・保護者評価・学校関係者評価の総括について
- ③次年度（平成31年度）へ向けて
- ④意見交換

平成30年度の教育重点目標は、(1)心をつくる教育の徹底と実践(2)わかる授業の実践で授業ファーストによる自主的・主体的に学ぶ生徒の育成(3)進路実現へ向けた系統的かつ具体的な進路指導(4)教育活動全体・行事の充実と精選という4つの具体的目標を掲げ取り組んできた。自己評価、生徒評価、保護者評価それぞれの視点で評価され総括を行ったが、成果も多く報告され改善されてきた項目もあった。しかし、継続的な反省や課題、また、新たな課題も見えてきた。ここ数年、学校評価をもとに次年度の改善項目として、目標を新たに設定し、取り組んできていることが学校全体の進化、改善へとつながってきている。今年度学校評価の総括を報告し、反省や課題を示し、率直な意見をお願いした。学校関係者評価委員から出た意見は次のとおりである。

(1) 今年の学校評価(全て)を見て驚いた。良く検討し、学校をより良い方向にもっていかうとする意志や取り組みを感じた。

(2) 様々なアイデア、学校の取り組み大変だと思うが、素晴らしい取り組みである。

(3) 今年度を反省し課題を解決していこうとする目標設定に期待したい。

## 7、総合評価

### 生徒による評価総括表より、

今年度から、より生徒の実態を把握し、改善を図ることができるように、アンケートの項目を具体的に詳細に分け実施し、統計を行った。昨年までの「城北高校での生活は楽しいですか」の項目に該当する質問として、今年からはより具体的に「10 城北高校では安心して学校生活を送ることができる」「11 城北高校ではじめのない学級、学校づくりがなされている」「27 明るく生き生きと学校生活を送ることができる」といった質問で、単なる楽しい、楽しくないといった思いや感想でなく、より具体的な内容での質問でアンケートの統計を行った。昨年までのアンケートの中で昨年最高の数値となった「城北高校での学校生活は楽しい」に「はい」と答えた88%と比較するとやや下回る数値とはなったが、82%～86%の数値で、「26 自分の将来に夢や希望を持っている」83%、「16 城北高校での生活や学習は自分の成長に役立っている」87%という数値と合わせて考えると、生徒一人ひとりがそれぞれに目標を持ち、本校教育におけるそれぞれの学科・コースの目標ややりがいも感じながら日々の学校生活を送っている生徒が8割超える現状を伺うことができる。4段階の評価で「まあまあ当てはまる」を含めた数値であるため、「当てはまる」と答える生徒がより増えるよう更に改善していきたい。

「城北高校に入学して良かったですか」の質問に関しては、今年度が過去最低値の73%となった点は重く受け止めなければならない。上述の一方で、満足感を感じている生徒が減ってきている現状が現実としてある事がわかる数値である。第一志望で入学してくる生徒が増えてきている現状がある中で(入学者数の約83%が専願受験合格者)、やはり生徒達に満足させる教育を提供し、自主的・自発的に生き生きと学校生活を送ることができる学校づくりを更に検討、創造していかなければならない。

また、以前から本校の課題となっている家庭学習(予習・復習・自学)への取り組みについては、依然として低い数値のままである。「当てはまる」と断言する生徒は15%、「学校の授業を理解している」と答える生徒も14%で「まあまあ当てはまる」を加えても51%と65%と極端に低数値となっており、学習、授業に対する改善は急務であり、喫緊の課題といえる。

更に目を向けなければならないのが、「文字を書く習慣を定着させるため」また、「自主的に自らの予定や記録を明確にし、記録として残していくため」に本校の特色の一つとして導入した「希望手帳」の活用についてである。「有効に活用している」と答えた生徒が21%、「まあまあ当てはまる」を加えても54%にとどまっているところは活用方法を含め、手帳の意味を再度指導徹底し、教職員全員で生徒自らが意識的に活用していくことができるよう改善しなければならない。

建学の精神『人間をつくる』教育をすすめる本校の教育の柱となっている「心を磨き育てる教育」を実践する中で、アンケートの「4 先生方は家庭への連絡をきめ細かく取ってくれる」「5 先生方の対応は親切で誠意があると感じる」「6 先生方は生徒の悩み事に対して親身になって相談にのってくれる」は特に毎年検証し、改善を図っていかなければならない重要項目であると考えられる。「4 先生方は家庭への連絡をきめ細かく取ってくれる」は77%、「5 先生方の対応は親切で誠意があると感じる」は79%、「6 先生方は生徒の悩み事に対して親身になって相談にのってくれる」は80%の生徒が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と回答しているが、今年の「先生達は生徒のために頑張っていますか」の質問に84%の生徒が「はい」と答えている数値よりも下回っている。個々の生徒がいきいきと前向きに何事にも自主的かつ主体的に取り組む、「輝く生徒の育成」を目指し、継続して、生徒一人ひとりに寄り添いながら更に改善していくために取り組まなければならない。教職員は今回のアンケート結果を真摯に受け止め、まずは「授業を第一」に、「生徒や保護者との関わりを大切」に、「生徒の可能性を引き出す」「生徒のやる気を育てる」「自分のことより人のことを思う生徒を育てる」教育の実践を再確認しなければならない。

保護者による評価総括表、意見や感想より、

学校の教育活動を展開する中で保護者との連携や協力は不可欠なものであり、重要なものである。本校が掲げる教育目標や重点目標への具体的取り組みや実践が保護者にどのように映っているのか、昨年との比較も含め検証したい。

昨年度は、アンケートのそれぞれの項目においてほぼ9割の保護者に「4 そう思う」「3 どちらかと言えばそう思う」と御理解を頂いている結果にはなっていたが、あえて「2 あまりそう思わない」「1 まったくそう思わない」と答えていただいた数値に目を向け、課題に取り組んできた。しかし、今年度は「思う」の数値が9割を切る項目が「3項目」出てしまった点について先ずしっかりと対応、改善策を考えていく事が必要となった。昨年度の課題項目として「3 城北高校の授業は生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している」という項目に着目し、「わかる授業の実践」と「生徒自ら取り組む授業」を挙げ取り組んだ結果、「思わない」の数値が9,7%と減少し、「思う」の評価が9割を超える数値(90,3%)となり前々年度との評価を比べると評価される数値となったが、全体的な項目ごとの評価と比べるとまだ低い評価(15項目中14位)であり、引き続き全職員が真摯に受け止め、課題とし更なる改善を目指していかねばならないと位置付け今年度取り組んだ。しかし結果は過去最低値の結果となった。「そう思う」が24,9%、「どちらかと言えばそう思う」を合わせても86,3%と全項目中最低の評価となった。保護者の記述の中にも、「勉強にもっと力を入れてほしい」「わかりにくい授業があるようでもう少しわかりやすく」等の具体的な記述もあり、今年度の最大の反省・改善事項となった。喫緊の具体的対策、計画・取り組みを図らねばならない。次年度の教育重点目標の1番目に挙げ、全教職員で「授業改革」「わかる授業の実践」を念頭に置き、生徒が意識的かつ意欲的に学習に取り組む授業、生徒の可能性、能力を引き出し向上させる授業、学力を上げ、成績向上へつながる授業の創造へ向け、研究と自己研鑽を積んでいかねばならない。また、個人の授業力、指導力の向上と組織としての個々の連携、組織としての力を上げるため、授業研究会、毎時の授業における具体的実践、教師間における学び、研修等の実施など改善を図りたい。

そして、次に「6 城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している」という項目についてである。建学の精神『人間をつくる』教育を根本に据え「心を磨き育てる」教育を実践している本校において、この項目の結果については大きな反省課題としなければならない。「そう思う」が35,0%、「どちらかと言えばそう思う」を合わせても87,0%と全項目中2番目に低評価の数値となっている。また、各項目において「全くそう思わない」と回答する保護者の数値がこれまでは1%越えることもあまりなかったが、今回過去最高の2,2%の数値となった点も重く受け止めたい。

最後に、生徒・保護者の満足度を測る項目として毎年着目している「15 城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている」という項目についてであるが、昨年より若干数値が下がっているところも非常に気になるところである。「そう思う」の数値が56,8%と全項目中1番の高い数値となっているところはとても有難くうれしいことであるが、「思わない」数値を少しでも少なくできるよう学校全体として、教育活動全体を客観視し、検討・改善策を練っていきたい。アンケートでは昨年同様に保護者からの御意見をたくさん頂くことができた。大多数が感謝のことばであったが、昨年より厳しい御意見を頂いたのも事実であり、真摯に受け止めて改善を図りたい。「子どもを育てる思い」は保護者も本校教職員も同じであり、相互の理解、協力は必要不可欠なものである。このような思いをさせている保護者がいるという現状を受け止め、日頃からの生徒・保護者との関わりがこの結果の根本にあるという認識のもと、現状の課題を明らかにしながら改善していく必要を感じている。愛と指導力と感性で生徒との関係を創り上げ、保護者の理解と連携を創り上げることを職員全員で再度確認し、「満足させる教育」の実践を確立していきたい。

## 学校関係者評価より、

平成29年度の学校評価を基に検討していただき、平成30年度へ向けた方向性の確認や御意見を頂いた中で、今年度（平成30年度）の本校の教育活動等について学校評価（自己評価、生徒による評価、保護者による評価等）について評価をしていただいた。今年度はありがたいことに、具体的に多くの率直な御意見や感想を頂くことができた。これは学校関係者評価委員の方々の本校への期待度と感ずることができる。それぞれの評価や分析、課題・改善策等について真剣に考察して頂いているが故の御意見でとても感謝するものである。委員の方々も本校の教育活動や指導方針、行事等について多大な期待と応援を頂いており、数値的な評価、それぞれの御意見については自己評価における課題等も明確化され、改善へ向け課題や取り組みの具現化がなされているように感じることができる。学校経営についての項目の「学校は教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている」の評価の数値、それに対しての御意見を今年度の本校の一番の反省と改善点としたい。心を磨き育てる教育を中心に据えて日々の教育活動を実践している本校職員として一人ひとりが自問自答し、反省と課題をしっかりと捉え、自覚のある教育実践を行うことが大切である。具体的には生徒を中心に据え、授業をはじめ各種行事等様々な教育活動の目的を明確化し、その中における楽しさや充実感等を感じさせる取り組みを考察し実践していきたい。またそれらの経験により、より自主的かつ主体的に取り組む生徒の育成を目指したい。本校教育の根幹を全職員で意識しベクトルをそろえ実践していくことが課題改善への第一歩である。各校務部、学科、教科等職員の連携強化と個々の職員の指導力向上を図りたい。

## 8. 次年度へ向けて

昨年度の学校評価をもとに課題改善すべく今年度（平成30年度）へ向け以下の4項目（①～④）の改善を図るため、重点目標（1）～（4）を設定し、取り組んできた。

### ⇒H29 教育改善強化点

①生活指導を基盤に「自分のことより先ず人のことを思え」城北スピリッツの育成、「心を磨き育てる教育」の確立 心を磨き育てる具体的教育活動の検討と実践。

### ☆H30 教育重点目標：

（1）生活指導を基盤に、真面目が当たり前校風をつくり、強い心、美しい心をつくる 教育を実践する。（心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育の徹底）

また、すべての教育活動の中で人権感覚を磨く教育を展開し、あらゆる差別を許さない教育を実践する。

### ⇒H29 教育改善強化点

②『わかる授業』と『生徒が自ら学びの中に楽しさを見つけ得る授業』の取り組み アクティブラーニングと、ポートフォリオ教育の研究と実践。

### ☆H30 教育重点目標：

（2）「わかる授業」の追求と実践を図る。特に今年は、授業の質を向上させるための研修と研究を積み、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ姿勢」「学ぶ習慣」の校風をつくる教育を実践する。（授業研究と公開授業を実施し、教材研究・授業の展開等の工夫と創造、更には教科における協働化・共有化を図る）

⇒H29 教育改善強化点

③進路実現へ向けた計画的、充実した指導の確立

組織を見直し、組織的・計画的に目標達成へ向けた指導。個々に応じた進路指導の取組み強化を図る。プレゼン力、小論文語学力、面接における自己表現力の向上。

☆H30 教育重点目標：

(3) 各学年間においての計画的かつ体系的な進路指導で、生徒の希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育を実践する。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの系統的かつ具体化した指導を実践する。(希望塾の充実強化、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、書く習慣づくり)

⇒H29 教育改善強化点

④学校施設設備の更なる充実

寮、スクールバスの老朽化における問題、学校施設における課題を今後も計画的に行っていく。

☆H30 教育重点目標：

(4) 学校教育活動全般と学校行事の精選と充実及び学校施設設備の更なる充実を図る。生徒が輝く教育活動、行事の具体的精選と内容改善を図り、「より生徒が変わる・伸びる・成長する」教育活動を展開していく。また、老朽化した施設設備(寮、スクールバス等)の改善を計画的に図る。

本校の建学の精神である『人間をつくる』を教育の柱におき、4つの本年度の教育重点目標を立て、教育活動、内容、行事等の検討を行ない、今年度の目標達成を目指し実践してきた。本年度は、本校における働き方の改善方策の試行期間として4月に働き方における方策についてを示し実行できるところから実行してきた。教職員の負担感の軽減と協力体制の強化とともに、教育の質の向上と魅力ある学校づくりへ向け取り組んできた。具体的には極力、職員研修等を今年度は行わず、また、毎週行われていた各種会議も隔週を基本にするなど、各職員の時間を少しでも確保し、授業の質向上のための教材研究の時間確保や生徒と向きあう時間確保にも努めてきた。

今年度の本校の大きな実績としては、進路面においての実績である。大学進学において、久しぶりにセンター試験で熊本大学や大分大学等国公立大学に現役で合格したり、公務員試験においても山鹿市役所や大阪府警に現役合格内定を頂くなどこれまでの努力が形として現れてきたのはとても喜ばしいことであった。卒業生も熊大、早稲田大、慶応大等々国公立有名私大に合格するなど朗報の連続であった。医療福祉科から西南学院大学に、調理科から熊本県立大学に進学するなど特進コース以外にも進学等実績を残すことができたのも本校の新しい飛躍への大きな一歩となった。また、新しい試みとして、ディスカッションやプレゼン能力の向上を目指し「城北プレゼンフェスタ TED スタイル」を実施できたことも大いに評価できるものであった。大学入試改革(2020)や学習指導要領改定(2022)等においても、これからの教育で注目されている能力向上へ向けた取り組みができたことも更に強化し、効果的な取り組みにしていかなければならない。教育環境整備として昨年度から行われていた女子寮の耐震改修工事も終え、また、2月には本校中庭に創立者記念図書館「すみれ文庫」も完成した。今後はこの図書館も本校教育の中心に据えた取り組みを実施していきたい。今必要とされている能力の一つに「読解力」がある。小学校からの教育においても教育課題とされ、大学入試でも注目されているものである。

今年の平成30年度は今後の飛躍の前兆の年とすべく、自己評価等各評価、総合評価等における課題も踏まえ、次年度は更に志を新たに、今まで以上に本校の飛躍する年としたい。

# 2019年度 教育目標

## 建学の精神 『人間をつくる』

### 1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

### 2 本年度の教育重点目標

- 1 「わかる授業」の追求と実践から「生徒が自主的に学び湧く授業」へ。授業の質を向上させるための教科内における研修と研究を積み、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ姿勢」「学ぶ習慣」をつくる教育の実践。すみれ文庫を活用した教育活動と教科指導の工夫。  
⇒授業研究と公開授業の実施。アクティブラーニング、チーム課題解決型学習等、工夫と創造した教材研究と授業の展開。教科内職員の連携・協力体制の確立。希望手帳の有効活用。  
    知ること、学ぶことの楽しさを味わわせ、主体的・対話的で深い学びの実践から「思考力」「判断力」「表現力」「読解力」「創造力」の向上へ
- 2 「心を磨き育てる教育」の確立。生活指導を基盤に「自分のことより先ず人のことを思え」城北スピリッツの育成。強い心、美しい心をつくる教育の実践。また、すべての教育活動の中で人権感覚を磨く教育を展開し、あらゆる差別を許さない教育の実践。  
⇒自らを高める授業への取り組み指導、心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育、希望手帳活用の徹底  
    いじめをしない、させない、許さない教育の実践。(クラス、授業、部活動等連携指導)
- 3 「計画的かつ系統的な進路指導」の確立。個々の生徒の進路希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育の実践。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの系統的かつ具体化した指導の実践。  
⇒希望塾の充実強化、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、希望手帳の活用  
    思考力・判断力・表現力を意識した小論文指導と面接指導。
- 4 「効果的かつ充実した学校教育活動と学校行事」の精選と実践。生徒がより主体的に活動し、輝く教育活動が実践できるよう各種学校行事等の検討と内容改善を図る。  
⇒学校行事、各校務部行事、学科コース、生徒会行事の精選と内容充実活動の実施。(体育大会、オープンキャンパス、学園祭、プレゼンフェスタ、山鹿学、地域活性化プロジェクト等総合的な探究の時間活用等の計画、内容充実と実践。